

## 2011 サミット宣言 in 黒部

北アルプスから富山湾まで約 3,000m の標高差により、幾筋もの河川が勢いを成し流れる富山平野。その流れは、循環の過程で多様な生態系を育み、農業用水や生活用水に使われるなど、私たちの暮らしに多くの恵みをもたらしています。

河川は時として氾濫を繰り返し、その莫大なエネルギーは生命財産を押し流す脅威ともなってきました。しかしながら、弛まない水の流れとその力は、上手く活用することにより、水車やダイロなどの農作業用動力源として人々の生活を助けてきました。かつての農業用水車は姿を消しましたが、化石燃料のひっ迫と地球温暖化が進行する今、小水力エネルギーが再び我々の生活に恵みをもたらそうとしています。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災と、それに伴う原発事故は、私たちにエネルギー自立の必要性と、人が制御可能な技術の重要性を強く示唆しました。この教訓を生かし私たちは、このサミットで培った知識と参加者の熱意をもって、次の事項について、次期サミットにしっかりと引き継ぎます。

- 一、農業用水や中小河川などの身近な流れを活用して、地域のエネルギーを自らの手で作り出すために、知恵をしぼり、行動を始めます。
- 一、小水力発電を地域で活用するための技術を開発し、災害にも強い地域でのエネルギー管理について考えていきます。
- 一、エネルギー生産が生産地域に利益をもたらすためのエネルギー地方分権と、地域の電力供給を地域で行える、国レベルでの制度制定を求めています。

以上、宣言します。

2011年11月20日

第2回全国小水力発電サミット in 黒部 参加者一同